

# ホタル祭り

## 第19回 玉川上水・神田川

2014 6/7 (土)・8 (日)  
PM 1:00 ~ PM 9:00

小雨決行・荒天中止(延期なし)

ホタルが舞うような自然へのご案内  
玉川上水会場  
神田川会場

- ① 神田川遊歩道は夕方からの混雑時久我山駅方面から富士見ヶ丘駅方面への一方通行となります。係員の指示に従ってください。
- ② 岩通りは15:00~21:00の間、車両通行止めとなります。
- ③ 玉川上水会場も一方通行となります。係員の指示に従ってください。



緑日にきわい、イベント会場  
中央緑地公園会場  
■各種模擬店



東京都水道局  
水道水とミネラルウォーターの飲み比べ  
参加者には素敵な記念品をプレゼント!  
(記念品はなくなり次第終了となります)

平和会グリーン会場  
■スガナミ楽器ミニコンサート  
7日(土)のみ(西武信金横)

### 豊丘村特産品直送販売

私たちと交流のある豊丘村が特別協賛!



つきたて餅を無料提供

### 狭野消防署が協力 久我山出張所庁舎開放



主催:久我山連合商店会  
後援:杉並区・杉並区教育委員会・岩崎通信機株式会社・久我山町会自治会連合会  
協賛:東京商工会議所杉並支部

- 車での会場は絶対にできません(岩通り通過車両は迂回のご協力をお願いします)
- 自転車での会場もご遠慮下さい(神田川通過自転車は迂回のご協力をお願いします)
- 混雑する時間帯の岩通り通行自転車は、自転車を降りて押して通行して下さい。
- ホタル放流区間は順路指示や掲示にしたがってください。状況により規制もあります。
- 各催しにより開始終了時間が異なります。無料提供や販売品はなくなり次第終了します。

### 包丁・まな板研ぎ (有料)

お申し込み終了

6/8日(日)のみ 10:00~12:00受付 15:00まで

東京土建富士見分会センター

ホームページ [www.kugayama.org](http://www.kugayama.org) / 問い合わせ 久我山連合商店会事務局 ☎03-3333-6867

車両記載事項を含め一部変更や中止の場合があります

みんなのほんとうの夏をともに  
がんばろう!日本  
今年も緑地の車道遊歩道を踏んで  
ホタル祭りを開催します。

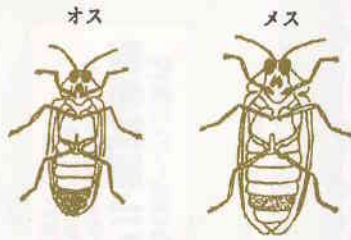
## ホタル祭り会場案内



# ゲンジボタルの一生に見る自然や生きもののふしぎ

## ■成虫は、幼虫の時の栄養を頼りに、水だけで3～6日生きる。

オスは舞い、草陰のメスを探します。メスはお気に入りのオスに対して光を返します。交信はそれだけではなく、産卵場所を探すメスが産卵中のメスの光を見つけ、産卵に合うよい場所を見つけることにも使われています。



## ■産卵後約1ヶ月で孵化。乾燥に弱い幼虫が、地面をはうのはとても危険なため、落ちればすぐ水に入れる場所を選び産卵。

体長2mmの幼虫にとっての地面の1mは、身長1mの子の50mにあたります。1cmの石は、子どもの場合の5mの岩にあたります。そのため、幼虫が、地上をはって水に入ることは大変です。だから、落ちれば水という場所に産卵します。

## ■幼虫のえさは自分の体に合うカワニナで約25匹前後が必要。孵化幼虫を一令幼虫とよび脱皮ごとに二令、三令…と数える。水中生活約9ヶ月で6回脱皮。約2mmから30mm前後に成長。

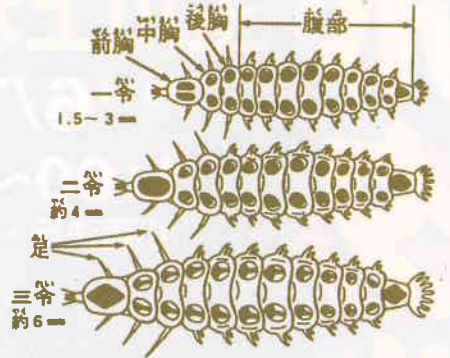
体をカワニナの殻の中に入れ、口から出した消化液で、カワニナの肉を口の外で溶かし、スープにします。その時、腹でふたをし、汁をこぼさず食べるため、自分の体の大きさに合う、カワニナの殻が必要となるのです。

幼虫に狙われたカワニナは、殻を左右に振ります。カワニナが大きいと幼虫は振り切られます。攻めやすく小さいカワニナでは満腹になりません。やはり、各令で体に合うカワニナを3～4匹食べ、月に2、3個必要です。



## ■幼虫のオスとメスの比は約3対1。羽化する率は2%の運命。

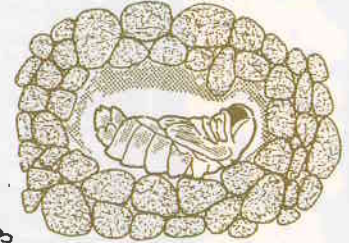
一匹のメスが産む卵は、平均約200個です。実験では、食べられて減る確率は、低いようです。また、餌がなくても各令により1ヶ月～半年位は、生きています。体長2mmの幼虫が、広い川底で、体長に合ったカワニナを探すのはかなり困難で、川底にしがみつき初餌を食べるかが生死を決めます。



## ■幼虫の上陸を春先の雨が助ける。約5週間の土繭完成に必要な湿度も雨が保つ。蛹は約2週間。計50日間飲まず食わず。

山桜の散る頃の雨の夜に上陸を始めます。寒い夜や雨の少ない夜は水面に頭を出して迷いますので、気温・水温など、何か上陸を決める判断のもとがあります。

＜ゲンジボタルの蛹＞



上陸後まず、だ円形の土繭を作ります。すき間や枯れ葉のかけらの多い腐葉土のような土が適します。粘液で土を積み上げ、体を回して壁を滑らかにします。体はぐちゃぐちゃで成虫の体や臓器に作り変えます。

## ■蛹になり約10日後に皮を脱ぐ。成虫は土の中で約3日休み、土を柔らかくする雨を待ち地上に出る。

